

ア
ウ
ト
リ
チ

通信



第 36 号

2020 年 9 月 20 日発行
年 2 回発行

神戸女学院大学音楽学部
アウトリーチ・センター

子どものための
コンサート・シリーズ

オルガン・コンサート

二月八日(土)、本学講堂にて「子どものためのオルガン・コンサート」わたしもぼくもオルガン博士!」(「子どものためのコンサート・シリーズ」第五十五回)を開催しました(十四時開演、六十分公演、来場者数・子ども百二十四名、大人百五十七名、計二百八十一名)。

出演は、オルガニストの大木麻理先生(ミューザ川崎シンフォニーホール・オルガニスト、

本学音楽学部非常勤講師)と音楽学部オルガン専攻生四名(四年生の米澤唯、竹嶋南帆、三年生の山田佳世子、一年生の森友



歌)の計五名で、演奏とお話を通して、パイプ・オルガンというあまりなじみ

のない楽器をより身近に感じてもらおうことを目的にプログラムを組みました。パイプ・オルガンの仕組みや歴史を分かりやすく説明するために、舞台進行役の女の子(米澤)と男の子(竹

嶋)が会場の子どもたちとともに

「オルガン博士」をめざすというストーリーに沿って、オルガンを演奏する姿やイラストをスクリーンに映しながらコンサートを進めました。曲目にはバツハの《トツカータとフーガ》ニ短調より《トツカータ》や、ロジャース《ドレミの歌》など誰でも一度は耳にしたことのある曲を取り入



れつつ、三台(講堂二階の大オルガン、舞台脇の中オルガン、舞台上手に設置したポ

ジティブ・オルガン)の楽器それぞれの特徴を活かしたオルガンならではの演奏も披露しました。

コンサートでは、まず舞台進行役の二人が今回演奏する三台のオルガンを紹介してから、二階の大オルガン(山田)でJ・S・バッハ《トツカータとフーガ》ニ短調BWV五六五より《トツカータ》を演奏しました。次にイラストとオルガンの模型を用いて、どのように音を出しているのか、楽器の仕組みを解説しました。仕組みが分かったところで、大オルガン(大木)によるソロでバッハ《小フーガ》ト短調BWV五七八と《主よ人の望みの喜びよ》BWV一四七を



演奏し、ひとつの楽器で様々な音色が出せる魅力を感じてもらいました。



大オルガンの足鍵盤による連弾（大木、竹嶋）でロジヤース（ヘドレミの歌）

を演奏し、ただで演奏するというオルガンならではの奏法をスクリーンに映し出したところ、お客様の印象に強く残ったようです。その後も、J・S・バッハについて、また国や時代によるスタイルの違いについて、などの説明を挟みながら、中オルガン（大木）とポジティブ・オルガン（森）のデュオでバッハ《ブランデンブルク協奏曲》第三番BWV一〇四八より第一章、ポジティブ・オルガン（大木）と水笛がかわいらしく響く

パッヘルベル作曲のフーガハ長調（ナイチンゲール）、大オルガン（米澤）



によるボエルマン《ゴシツク組曲》作品二十五より（ノートルダムの祈り）が

続きます。そうして多くの音色を体感してもらった後、音色を作り出すパイプに焦点を当て、「大オルガンには、何本のパイプが収められているでしょう？」というクイズを三択問題で出しました（正しくは二千五百三十六本）。楽器に収め

られているパイプの数に、子どもたちだけでなく大人の方も驚



いた様子でした。そのパイプを活かした華やかな大オルガン（大木）のソロでギルマン作曲《見よ勇者は帰る》による幻想曲《を演奏し、最後に、大オルガンの伴奏で《となりのトトロ》より《さんぽ》を会場の皆さんと元氣よく歌って幕を閉じました。

終演後は、舞台上でポジティブ・オルガンとオルガン模型の、舞台下で中オルガンの楽器体験を行いました。ふいごを動かしたり、鍵盤を押して音を鳴らしてみたり、近くでパイプの形を見比べたりと、大人も子どもも共に楽しめる時間となりました。また同時進行で、別室にて厚紙とストローを使ったパイプの工作体験も行いました。紙パイプ完成後は、自分で作ったパイプを吹いて音が出ることを確かめてもらいました。

お客様からは、「三つのオルガ

ンで様々な音色が聴けて楽しかった」「パイプ・オルガンの仕組みを知ることができてよかったです」などの声を頂きました。出演者の中で意見を出し合い、リハーサルを通してスタッフからもアドバイスをもらい、また準備段階からたくさんの方の協力があったからこそ、子どもたちにパイプ・オルガンについて分かりやすく紹介し、興味を持ってもらうという目的を達成することができたのだと実感しています。

（森 友歌・記）



今後の活動

子どものための

スペシャル・コンサート

「子どものためのスペシャル・コンサート」～FUN FUN Flute! 楽しい! おもしろい!フルートの世界～」

(「子どものためのコンサート・シリーズ」第五十六回)を十月十七日(土)に本学講堂で開催します(十四時開演、六十分公演、三歳以上対象)。

出演はフルーティストのザビエル・ラック本学准教授をはじめ、ラック三智子(フルート)、竹ヶ鼻智絵(ピアノ)と本学音楽学部フルート専攻生七名(大内菜々美、松本知紗、河道萌々子、内藤友捺、中野由菜、芦沢梨里沙、堀之内明希)です。

キラキラと輝くフルートも、昔は木で作られていました。そ

んなフルートの歴史を演奏とお話して迎えるコンサートで、演奏曲目はボルヌ(カルメン幻想曲)、ロジャース(サウンド・オブ・ミュージック)、カステレード(笛吹きの日)他です。どうぞお楽しみに!

子どものための

クリスマス・コンサート

「子どものためのクリスマス・コンサート」楽しい『あの日』がやってくる(同第五十七回)を十二月十二日(土)に本学講堂で開催します(第一部十一時、第二部十五時半開演、各六十分、第一部は年齢制限なし、第二部は幼稚園年長以上対象)。

出演はアウトリーチ第十八期生を中心とする五名(声楽・安川陽菜、ヴァイオリン/ヴィオラ・松田真緒、コントラバス・

岩崎朱夏、ピアノ・勝間田萌、ピアノ/クラリネット・井本斐)。「音楽からイメージを湧き上げさせよう」をテーマに、モーツアルトやドニゼッティからガーシュインまでの多彩な曲目が、クリスマスらしい楽曲と共にプログラムされています。どうぞご期待ください。

子どものための

スプリング・コンサート

「子どものためのスプリング・コンサート」(同第五十八回)を二〇二二年三月六日(土)に本学音楽館ホールで開催するべく計画を進めています。

出演は「音楽によるアウトリーチ」を履修している音楽学部四年生で、ヴァイオリンやヴィオラといった弦楽器を中心とするプログラムを鋭意準備中です。今年新型コロナ・ウイルス

感染拡大による非常事態宣言を受けて、前期中、学生は登校禁止とされたため、七月四日(土)に予定していた「子どものための七夕コンサート」は中止を余儀なくされました。それに代わる場を何とか設けたいと模索しております。

来場のお客様や学生たちの健康を守りつつ、音楽の場を実現するためにはどうしたらいいのか、未曾有の事態の中、手探りの努力を続けています。来場者数の制限など、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、ご理解とご協力のほどをお願いいたします。

(以上、アウトリーチ・センター長、津上智実)

※コンサートの開催に関する情報

は、アウトリーチ・センターのHPを、ご確認ください※

♪今後の予定♪

◎アウトリーチ

2020年10月8日(木) 西宮市立門戸幼稚園
2020年10月15日(木) 神戸市立医療センター中央市民病院
2020年11月7日(土) 医療法人社団佳生会 野木病院
2020年11月12日(木) 西宮市立子育て総合センター附属あおぞら幼稚園
2020年11月19日(木) 国立病院機構 兵庫中央病院
2020年12月4日(金) 雲雀丘学園小学校

◎ワークショップ

新型コロナ・ウイルス感染症の影響により中止

◎子どものためのコンサート・シリーズ

「第56回 子どものためのスペシャル・コンサート

～FUN FUN Flute! 楽しい! おもしろい! フルートの世界～」

日時: 2020年10月17日(土) 14:00 開演 ※3歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。

会場: 神戸女学院講堂 (エミリー・ホワイト・スミス記念講堂)

出演: ザビエル ラック (フルート)、本学音楽学部准教授、ラック 三智子 (フルート)、
本学音楽学部フルート専攻生、竹ヶ鼻智絵 (ピアノ)

入場料: 大人 1000 円、子ども (3～19 歳以下) 500 円

応募方法: アウトリーチ・センターのホームページをご覧ください。

備考: コンサートの開催に関する情報は、アウトリーチ・センターのHPをご確認ください。

◎子どものためのコンサート・シリーズ

「第57回 子どものためのクリスマス・コンサート ～楽しい『あの日』がやってくる～」

日時: 2020年12月12日(土)

第1部 11:00 開演 (年齢制限なし)

第2部 15:30 開演 (幼稚園年長以上対象)

会場: 神戸女学院講堂 (エミリー・ホワイト・スミス記念講堂)

出演: 安川陽菜 (声楽)、松田真緒 (ヴァイオリン、ヴィオラ)、岩崎朱夏 (コントラバス)

勝間田萌 (ピアノ)、井本斐 (ピアノ、クラリネット)

入場料: 大人 500 円、子ども (19 歳以下) 300 円

応募方法: アウトリーチ・センターのホームページをご覧ください。

備考: コンサートの開催に関する情報は、アウトリーチ・センターのHPをご確認ください。

音楽をお届けします!!

「アウトリーチ」とは、「一歩踏み出すこと」「手をさしのべること」。

大学やホールといった従来の枠にとらわれずに、社会のさまざまな場にてききな音楽のプログラムをお届けします。

♪幼稚園・小中学校へ: 総合的学習支援プログラムとして、
の音楽子どものための楽しい体験学習を!

♪病院や美術館へ: 催しの趣旨に沿った手作り
プログラムを、心をこめてお届けします。

お問い合わせは…

神戸女学院大学音楽学部 アウトリーチ・センター (月～金 10:00～15:00)

〒662-8505 西宮市岡田山 4-1

TEL: 0798-51-8584 FAX: 0798-51-8551

E-mail: outreach@mail.kobe-c.ac.jp

https://www.kobe-c.ac.jp/musicdp/outreach/

編集後記

一日でも早い収束を願い、元気な皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。(森)

日々変わりゆく情勢の中、今できることを模索し実行したいと思います。

一日でも早く、落ち着いた日々になりますように。(丹野)

古来、大規模な感染症は人間の文化を大きく変えてきました。

コロナ禍の中でも、諦めずに明日の夢を追いかけ続けましょう。(津上)